

Peace

Through Service

奉仕を通じて平和を



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

10 2012-2013
October
vol.4

国際ロータリー 第2660地区
2012-2013年度ガバナー

高島 凱夫

2012-2013年度 RI第2660地区方針

「育もう未来の力を ～飛躍～」

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2012-2013

2012-2013
October
10 vol.4

CONTENTS

職業奉仕と米山月間に寄せて	1
職業奉仕月間によせて	2
米山月間によせて	3
米山奨学委員長会議およびカウンセラー研修会	4
2012-2013年度 少年少女ニコニコキャンプ報告	5
2012-2013年度 第2660地区インターアクト海外研修	6
2012-2013年度 クラブ・ビルダー賞	7
ロータリー財団情報	8
災害支援プロジェクト報告(第16回)	9
米山奨学委員会 / ロータリー財団	10
2012年8月度 会員数・出席報告	11
敬弔 / お知らせ	12
文庫通信	13

職業奉仕と米山月間に寄せて

国際ロータリー第2660地区 ガバナー
高島 凱夫



職業奉仕については、“このようにしたら世の中に良いことを成した”ということが、なかなか解りにくく、少なくともロータリアンになって日の浅い私では、難しいことを言われると返答に窮することがあります。職業奉仕を含め、ロータリーに関する考え方は、さまざまな考え方があって良いのではないかと常々考えています。ロータリーの綱領、国際ロータリー定款・細則、クラブ細則が湖の堤とすれば、その湖の中で千差万別な意見があつて良いのではないかと、思います。ロータリークラブに所属する以上は、湖の堤を超えることはロータリアンにあつてはならないことです。

職業奉仕を考える上では、やはり四つのテストが基本になるのではないのでしょうか。四つのテストは、ハーバート J. テーラーが、窮地にあつた彼の会社を救うのに役立ったのです。この指針が表現していた内容や信条はまた、ほかの多くの人たちに対しても、倫理的羅針盤を提供することになりました。やがて、国際ロータリーによって採用され、広く知れ渡ることになったこの四つのテストは、今日では、ロータリーの基本理念の一つとなっています。

中核となる価値観(core value)、即ち奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップも職業奉仕の中に大きな比重を占めていると言えるでしょう。とりわけ、高潔性(integrity)は、職業奉仕の中では決して忘れてはならないWordでないでしょうか。高潔性=正直さ・誠実=他人を思いやる心(尊重)・責任感と捉えて良いと思います。

なお、中核となる価値観の5つのWordsは、今後「4つのテスト」と同等のロータリーの考え方の一つとなっていく、重要な項目だと思われます。

10月は「米山月間」でもあります。皆様は、充分ご承知のことと思いますが、米山奨学事業は、創設から半世紀

以上の歴史を持つ、日本のロータリー独自の奨学制度であり、事業創設の願いは、外国人留学生の支援を行なう奨学事業を通じて、世界の人々に“平和日本”の理解を促す事でありました。現在も創設時の理念を基に外国人留学生の支援と交流を通じて、国を超えた絆や信頼関係を築き、20年30年後の実りを願い、一人ひとりの胸に世界平和を願う“心”を世界中に植える“植樹”の様な奉仕事業を行なっています。

民間団体が行なう奨学事業としては、奨学生総数、奨学金の総額からみても世界に誇るべき事業規模であり、又、宗教や思想の強要が無い素晴らしい奨学制度であります。

米山奨学事業の目的が「平和と国際理解の推進」を実現する国際親善奉仕活動であることを理解し、活動を通じて交流する奨学生が、生活習慣が異なる異文化で育ってきた外国人留学生であることを充分に承知しておく事が大切であると思います。

しかし、半世紀の時を経て世界情勢や取り巻く環境も変化し、奨学制度のあり方も貧窮救済支援型から知的国際貢献型に変化してきており、この事業の捉え方にも様々な形が生じ、支援する立場の方々の心情も微妙に変化してきていると思います。

ロータリーにも進化が求められる様に奉仕事業も時代の変化に適合する柔軟な姿勢が求められます。この様な時こそ改めて事業創設の原点を再認識する必要がある様に思います。

ロータリアンが忘れてならないのは、奉仕事業の根本は見返りを求めないことではないでしょうか。見返りを求める気持ちは、批判的な気持ちに変貌し、素晴らしい奉仕事業の妨げになってしまうと思います。

職業奉仕月間によせて

職業奉仕委員会 委員長
木越 正司 (大阪西RC)

日本人は古来より個人より全体を重んじる精神が強い国民ですが、昨年の東日本大震災の時に見られた行動や、今年のオリンピックのように、水泳、女子卓球などで、個人戦もさることながら団体戦において、選手の強い精神力や団結力が発揮されその凄さにあらためて感じさせられました。この特異な力は、一体どこから生じてくるのでしょうか?何が日本人に備わっているのでしょうか?

ロータリークラブは、自分の職業を通じて社会に奉仕することを前提としています。わかりにくいですが考えれば簡単です。自分の職業に対する意識、すなわち職業観、職業精神をどのように持っているかです。企業の法令順守はもとより、各自が職業倫理に根ざして行動しているか?従業員、地域住民、お客様、仕入れ先の方々を大事にしているか?このことを常に自分の行動規範として持って仕事をしているかということです。これを内的奉仕(Internal Service)と言っています。

我々は 東北支援などの弱者救済、出前授業や職場体験学習などの教育実践活動を数多く行っていますが、このような活動は多くの企業や団体、NPOなども行っています。RCの行う奉仕活動とはどう違うのでしょうか?この命題を解くカギは前述したとおり、ロータリアンの活動が如何に職業精神に基づいて行動を起こしたものであるか、という点にあります。即ち、I Serve の理念、自らを律して他人に奉仕し、自らも利益を得ることの実践の場として行動するかということが、他団体との大きな違いであると思います。このような精神のもとで実施することを、外的奉仕(External Service)と言っています。これらの



内的・外的奉仕を組み合わせることで日常の職業に生かしていくことが、RCの職業奉仕といえるでしょう。

今年度も高島Gのもと、出前授業及び職場体験学習をさらに深耕させたいと考えています。出前授業では現在の学校教育では埋めることのできない道徳教育、働くことの意義や目的、将来への希望などを生徒らと共に考える機会を作るとともに、ロータリアン自身が教育実践を体験する場でもあることを認識していただきたいと考えています。高島Gの方針の中に、「職場体験学習・出前授業で職業奉仕、仕事の大切さを強調し、公共イメージと認知度の向上を目指していくこと」が示されています。

今年度もクラブ職業奉仕委員長には、自ら職業奉仕に関する卓話をお願いすると共に、クラブフォーラムにおいては「自分の職業において生じたトラブルや困難をいかにして解決したか」といった事例でわかりやすく語っていただければと思います。今年度は「わかりやすい職業奉仕を」というテーマで皆さんと共に考えていきたいと思っています。

米山月間によせて

米山奨学委員会 委員長

田中 真人 (大阪北RC)



本年度米山奨学委員会は“米山奨学事業のファン作り”をメインテーマに掲げ活動をいたしております。

私の米山奨学事業の関わりの始まりは5年前に自クラブにて米山奨学委員長に任命された時になります。それまでは10月の米山月間に機械的に2万円の寄付をするだけのことでした。委員長になると人前で米山事業について発表する必要性から事業について勉強することとなり、事業の理念・歴史・影響等を理解することとなりました。また委員会主催でクラブメンバーの方々に米山梅吉記念館を案内させていただくことは米山梅吉翁の足跡を知る機会に恵まれました。その後、地区主催の奨学生歓送会の場で多くのクラブのカウンセラーの方々が、1年間の限られた期間の中で奨学生と心深く結ばれているのを目の当たりにして米山事業のファンになっていきました。

私達、地区委員会としましては一人でも多くのロータリアンに米山奨学生と接していただきたいと考えております。現在全国で約14億円のロータリアンの寄付金をもって800名の奨学生をお世話しております。そして各地区の寄付金と担当奨学生の数ほぼ比例しておりますので我々第2660地区の7000万円のご寄付いただいた金額で39名の奨学生を担当しています。当地区の約半分のクラブが奨学生を受け持っているのが現状です。目標は第2660地区全クラブにそれぞれ毎年奨学生を受け持って頂き、米山事業により多く関わっていただく機会を作りたいと考えています。

その為には、ロータリアンから高い評価を頂ける奨学生を集める必要が有ります。奨学生は第2660地区エリア内に有る大学から定員の約2倍の奨学生希望者の推薦をいただき、書類・論文・面接選考を経て決定いたします。本年度7月の大学との打ち合わせ会議にて以下の点を変更しました。

- 1.前年度の合格率による推薦枠の増減。(優秀な学生を多く推薦した大学の枠を増やす)
- 2.奨学生希望推薦者の1国に於ける比率を50%以下にする。(近年1国に偏りすぎていた為)

ロータリアンから高い評価をいただける奨学生を多く集め、ロータリアン、奨学生ともにお互いが感動を覚える活動の手助けになるようにしていきたいと考えています。そうすることによって1人でも多くの米山事業のファンになっていただき寄付を増やしていきたいと思えます。寄付が増えると担当奨学生の数が増えます。大学の方にもこの相乗効果を理解して頂きより良い学生の推薦を促しています。

(財)ロータリー米山記念奨学会にはシンボルマークが有ります。重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」です。外国人留学生の支援・交流を通じて国を超えた信頼関係を築き、世界平和を願う“心”を育てるという、事業創設の願いがこめられています。手は、そうした“心”を生み出すと同時に、当事業がロータリアンの手で支えられている事を示しています。

50年以上の歴史を持ち、世界に類を見ない、RI認証の日本独自の多地区合同奉仕活動であるこの「米山記念奨学事業」を地区の皆様と共に広めたいと考える次第です。ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

米山奨学委員長会議および カウンセラー研修会

米山奨学委員会 委員

島井 宏子 (大阪北梅田RC)

日 時:2012年7月28日(土)

会 場:大阪薬業年金会館 301号室

出席者:ガバナー 高島凱夫、米山奨学会副理事長 近藤雅臣、米山担当顧問パスト・ガバナー 若林紀男、地区研修委員 磯田郁子、地区代表幹事 村橋義晃、地区副代表幹事 杉村雅之、地区米山委員10名、各クラブ米山奨学委員56名(含代理)、カウンセラー23名、参加者計95名

2012年度米山奨学委員長会議およびカウンセラー研修会は、7月28日午後2時より大阪薬業年金会館に於いて上記95名のご出席を頂いて開催されました。司会進行は福田地区委員が担当させていただきました。

来賓紹介と資料確認に続き、高島Gより「本日の研修会では、各々の役割をご理解頂き、活動に役立てて頂きたい。米山奨学会は平和な日本の木を世界に植樹し、平和と世界理解の推進に貢献しています」とのご挨拶を戴きました。

続いて、米山奨学会副理事長近藤PGより『米山奨学会の今後の展望』と題して、「米山奨学生の同窓会である学友会も、海外においても台湾・韓国・中国に続いて今年タイで発足。ネパールでも5番目の学友会が出来つつある。その根底にある奨学生の感謝の気持ちに応えるためにも、日本での学業を十分に支援出来るだけの奨学金を毎月手渡すことが必要。決して寄付金が少なくなったからと言って、一人当たりの奨学金を減らしても良いものではない。元々は優秀であり、日本で学びたいが余裕がなく来日出来ない人を現地採用することが原点であった。卒業後どこの地にあってロータリー精神を理解して役立てる人に成長するよう支援・助言して頂きたい」などのお話を戴きました。

次に、田中委員長より「米山奨学会は、知的な国際貢献度の高いものである。決して見返りを求めるのではなく、日本の良き理解者を作り、寛容な態度でその結果を待っていただきたい。『ロータリアンによる日本のファン作り』と位置づけ、個人の成育を知り、教育の基本である良きサ



ポートを適時与えてくださる事をお願いしたい。これに先立ち、先日は大学との意見交換会を開き、学業・人格共に優れ、ロータリアンが真に物心両面の支援をしようと思える学生を推薦して下さいと、今後、米山奨学事業への理解もロータリアン・奨学生両方から得られ、会も発展する、という点で互いの立場を確認した。尚、今年度は1カ国50%までという比率で受験生の選考をして頂く事で了承を得た」等の報告とお願いをさせていただきました。

続いて、各クラブの委員長を5グループ、カウンセラーを2グループに分け、それぞれのテーマで約70分討論して頂きました。

委員長グループ:ロータリアンの米山奨学事業の理解を深め、寄付金を増やすにはどうすればいいか?

カウンセラー:奨学生の世話で困ったこと、良かったこと

今年度は、討論に十分な時間を割くために、討論後の発表を省略しました。後日、グループ書記より提出して頂いた内容をまとめ、又、ご質問等には出来る範囲の答えを添えて各クラブに送信させていただきました。

講評として、地区米山奨学委員会顧問 若林PGより「高島Gの米山事業へのご理解も深く、又、本日集られた皆様の熱心な討論に米山事業の今後が楽しみです」とのお言葉を戴きました。

最後に、西谷副委員長より、例年以上の猛暑の中ご出席頂き、最後までご清聴、また熱心なご討議を頂けたことへのお礼の挨拶で、約2時間に亘る研修会を閉会させていただきました。

2012-2013年度 少年少女ニコニコキャンプ報告

青少年活動委員会 委員長
植田 昌克 (大阪北RC)

2012～2013年度少年少女ニコニコキャンプは、「生駒の夏。最高の夏。作ろうでっかい思い出」をテーマに、ホストの大阪中央RCの皆さん、大阪中央RACを中心とするローターアクトの皆さん、そしてチームライラの皆さんの総力のもと、8月3日から5日まで生駒山麓公園で2泊3日のプログラムが実施されました。

参加した70名の小学4年生から6年生の児童は、JR大阪駅に集合した後、バスで生駒山麓公園へと向かいました。「3日間、初めて会うお友達と仲良くできるかな、野外活動の多いプログラムについていけるかな」など、開校式での多くの児童は不安を隠せず、どこか落ち着きがありませんでした。

少年少女ニコニコキャンプは児童が共同生活を通して自然に対する畏敬の念を持ち、団結の大切さと奉仕の精神を体験しながら学ぶことを目的としています。また、ローターアクトのリーダーシップ研修の場でもあります。各班のリーダーを務めたローターアクトも、開校式では児童を見守り導くことの重責に押し潰されそうな様子でした。



それが、わずか2日後の修了式では児童、ローターアクター共に満面の笑みで、疲労の中にも充実感、達成感に満たされた様子で、本事業の意義、重要性を再認識しました。

1日目は、10班の児童がそれぞれ班旗を作成した後、夕食のカレー作りです。リーダーのもと役割分担をして慣れない包丁で具を刻み、班ごとにかまどに乗せたお鍋で煮込みました。皆で協力して作ったカレーの味は野外で食べると格別で、児童たちも緊張がほぐれました。

2日目の午前はフィールドアスレチックです。難易度の高いアスレチックとして知られ、30種類のアトラクションから19個を選定して、それぞれにロータリアンが緊急時対応のために待機しました。班ごとにローターアクトが誘導して出発です。大自然の中でお互いに助け合いながらチャレンジし、見事に全員クリアしました。

午後は班ごとにテント設営です。苦戦しながらも皆が組み立て成功。夕食のBBQは、ロータリアンも全員参加。美味しいお肉に舌鼓を打ちました。夜はキャンプファイヤーで楽しみました。

3日目は眠い目をこすりながら朝から皆でテント解体。朝食の後は木工工作。空いた時間はリーダーも一緒になって元気よく走り回りました。

このキャンプを通して、児童の皆さんはきっとたくさんの思い出ができたことと思います。綿密なプログラムの立案と細部に渡る準備、運営でご苦勞いただいた大阪中央RC、RAC、チームライラの皆さまに心より感謝申し上げます。報告といたします。ありがとうございました。

2012-2013年度 第2660地区インターアクト海外研修

インターアクト委員会 委員長
中野 秀一 (大東RC)

今年度の海外研修は、8月6日～9日まで3泊4日の行程で台湾へ行って参りました。参加者は、インターアクトクラブの生徒、顧問、提唱クラブのロータリアン他59名でした。交流先は第3510地区、高雄東北RC、高雄女子校、そして老人福祉施設の高雄仁愛之家でした。

今年度の海外研修は、例年通りの奉仕と国際理解を深める活動に、生徒達の自主・自立性を尊重する事と指導力の更なる養成に重点をおきました。自主・自立性を尊重するという点において、今年度はクラブ合同会議に各校顧問と生徒代表にも参加頂き、海外研修プログラムの企画・立案段階から生徒達の要望する老人福祉施設での奉仕内容を盛り込みました。又、指導力の更なる養成という点においては、両国生徒達の「将来の夢、就きたい職業」を自らに問いかけると共に、その内容を英語で発表し意見交換を行う事で、アジアに生きる同世代の若者が両国の特性や文化の違いに気づき、自国を愛し他国を尊重する意識の芽生えと、国際感覚溢れる将来の日本を支える人材創りとなる事を目的としました。

具体的な活動内容として、初日、関西空港にて結団式を行い、高島Gからご挨拶とお見送りをいただき無事に台湾に向けて出発いたしました。台湾の桃園国際空港に到着後、一路バスにて台北市内へ移動し、台湾の靖国神社と言われている忠烈祠で張り詰めた空気の中行われる衛兵交替式を観覧し、又、故宫博物院にて歴史ある所蔵品を鑑賞しました。その後、宿泊先ホテルにチェックインし、夕食後に河内音頭と歌の練習を行い就寝。



2日目は新幹線にて台湾南部の高雄市へ向かいました。終着駅の高雄駅では生憎の大雨でしたが、高雄女子高生徒達の暖かい出迎えを受け、一同バスにて昼食会場の夢時代デパートへ移動。ここで、6グループに分かれて両国の生徒達同士で昼食とショッピングを楽しみながら懇親を深めました。その後、高雄市指定古跡である武徳殿を訪問し、宮本武蔵を開祖とする二天一流第十一代宗家の陳信實(ちん・しんかん)先生(中興RC・元会長)の真剣による実演をご披露頂きました。歴史ある建物と日本の武道が台湾の地で今も生き永らえている事に、生徒達も日本と台湾の関係の深さに思い至った事と思います。この後、第3510地区ロバートG主催のウェルカムパーティーに出席しました。パーティーでは高島Gからの親書を渡し、バナーの交換を行うと共に生徒達の歌を披露しました。会は大いに盛り上がり、生徒達の交流により今後も日本と台湾の末永い友好関係が築けるきっかけが出来ました。

3日目は、高雄女子高校を訪問し、前述した意見交換会を行いました。その後、台湾で有名な佛教聖地である佛光山へ移動し、昼食には精進料理の招待を頂きました。そして、前述の老人福祉施設で歌の披露や施設の説明を受け、縦世代間の交流を行うことが出来ました。この日の夕食は第2660地区から感謝の意を含めたフェアウェルパーティーを開催し、高雄東北RCを始めとする多くの方々と河内音頭を踊り懇親を深める事が出来ました。

最終日は、台北市へ移動し、解団式の後に日本への帰路につきました。

総じてトラブルも無く、台湾の美味しい食事と現地の暖かいおもてなしに恵まれ、素晴らしい海外研修となりましたが、ご同行頂きました各校顧問の先生方、ロータリアンの皆様には心から感謝申し上げます。又、日頃からインターアクトの活動にご理解とご支援いただいている各RC及び地区の皆様にも心から御礼申し上げます。

2012-2013年度 クラブ・ビルダー賞

国際ロータリー第2660地区 ガバナー
高島 凱夫

「クラブ・ビルダー賞」についてお知らせいたします。今年度はガバナーの表彰になります。

クラブ・ビルダー賞 概要

クラブ・ビルダー賞は、ロータリー・クラブのサポートと強化に大きく貢献したロータリアンを表彰するものです。

受賞資格

候補者はロータリー・クラブ会員歴5年以上で瑕疵なき(会員としての義務を果たしている)会員でなければなりません。

以下のロータリアンは本賞の受賞資格がありません。

- 現クラブ会長
- 現職、次期、および直前地区ガバナー
- 現職、次期、および元RI理事

候補者は以下を達成していなければなりません。

- 少なくとも5名の会員を個人的に勧誘して入会させること。また、本賞の候補者として推薦される時点において、入会したこれらの会員すべてが正会員としてとどまっていること
- 所属クラブでロータリーの研修に参加したことがある
- クラブレベルで少なくとも1つの意義ある職業奉仕プロジェクトに参加したことがあること
- 推薦される直前の過去3年間に、少なくとも2回の地区会合に出席していること

資格を有する候補者は、所属クラブ(3年に満たない新しいクラブの会員は、過去に所属していたクラブ)の3名の元クラブ会長から推薦を受けなければなりません。地区ガバナーは、3名の元ガバナーから成る選考委員会を結成し、地区の受賞者を選出します。受賞者は10名以内とし、ガバナーは受賞者の氏名を月信にて公表します。

推薦書式の提出期日

2012年11月30日

(推薦書式はガバナー事務所にご請求ください。)

ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長
溝畑 正信 (東大阪東RC)

1. ポリオ・プラス

【ポリオ症例数】

2012年9月3日現在のポリオ症例数です。

	2012年 1月1日～9月3日	2011年 1月1日～12月31日
アフガニスタン	17	80
パキスタン	29	198
ナイジェリア	83	62
インド	-	1
ポリオ常在国以外	5	309
世界合計	134	650

*現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国です。

2. 新補助金制度(未来の夢計画)

【試験段階からの変更点】

来年7月から新しい補助金モデルが全世界に導入されますが、現在までに試験地区から寄せられた意見を基に、いくつかの変更が加えられることになりました。

① 2つの重点分野の基準を拡大

「基本的教育と識字率向上」に中等教育が含まれるほか、「疾病予防と治療」に非伝染性の疾病の予防と保健の推進が含まれます。さらに、すべての重点分野において、一定の種類のインフラ構築プロジェクトが認められます。

② 語学試験の結果が不要に

グローバル補助金の奨学生が語学試験の結果を提出する義務がなくなります。

③ 職業研修チームの編成への変更

チームの最低人数が3名となり、財団の承認があれば、ロータリアンでない人もチームリーダーとすることができます。

④ 旅費

グローバル補助金プロジェクトを実施するための海外渡航費用に補助金が利用できます。

⑤ パッケージ・グラントの予算の下限

これまでの50,000ドルから、20,000ドルに下がります。

3. 教育的・人道的プログラム(2012-13年度まで)

【マッチング・グラント(MG)】

2012-13年度は、試験段階に参加していない地区がマッチング・グラントを申請する最後の年度です。申請書は、2013年3月31日まで受け付けており、5月15日までに承認されます。25,001ドル以上のマッチング・グラントは、10月と4月に年2回審査されていましたが、今年度は年度を通じて随時審査が行われます。

【新補助金制度への移行】

マッチング・グラント(MG)・地区補助金(DSG)・国際親善奨学金・研究グループ交換(GSE)などのプログラムは、2012-13年度で終了します。2013-14年度からはグローバル補助金または新地区補助金(DG)を利用してプロジェクトを実施できます。国際親善奨学金や研究グループ交換(GSE)という名称はなくなり、金額や応募の時期が柔軟になります。グローバル補助金の場合にはWF(国際財団活動資金)からのマッチングが受けられますので、今までより大きな金額を利用することができます。ロータリー平和フェローシップは2013-14年度以降も継続します。

4. RRFRCより: 2012-13年度 日本の寄付推進目標

ロータリー財団地域コーディネーター(RRFRC)は、田中作次RI会長年度、補助金活動を支える寄付面でもより充実した年とするために、下記のとおり寄付推進目標を掲げました。

【日本の2012-13年度目標】

- ① 年次基金一人当たり: 150ドル
- ② 年次基金0 クラブ数: 0
- ③ ポリオ・プラス: 日本270万ドル(各ゾーン90万ドル)
※DDF(地区財団活動資金)含む
世界2,100万ドル

【訂正】

月信9月号9ページのロータリー財団情報で間違いがありましたので訂正いたします。

【ポリオ症例数】の表

(誤) 2012年1月1日～12月31日
(正) 2011年1月1日～12月31日

災害支援プロジェクト報告(第16回)

災害支援プロジェクト 委員長

岡部 泰鑑 (大阪城南RC)

九州北部豪雨災害支援金に対する御礼

7月に九州北部で発生しました豪雨の被害に対しまして、支援金のお願いをいたしましたところ、各クラブから多額のご寄付が集まりました。支援金の総額は2,748,573円(9月18日現在)となりました。

皆様からの支援金は、国際ロータリー第2700地区、第2720地区のガバナーに、それぞれ2分の1ずつ送金し、豪雨被害の救援支援金として活用いたします。

なお、第2740地区は被害が少なかったため、同地区のご意向により、他2地区に支援金を送ることになりました。

皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

国際ロータリー第2660地区
ガバナー 高島 凱夫

災害支援プロジェクト
委員長 岡部 泰鑑

災害支援地区基金の状況 (2012年9月11日現在)

【収入】

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
1	岡部年度からの繰越	708,892円	
2	大阪中之島RC	57,750円	
3	大阪城南RC	15,460円	
4	利息	5円	
5	大阪東南RC	500,000円	
6	大阪中之島RC	100,000円	
7	寝屋川IRC	37,000円	
8	大阪咲洲RC	30,000円	
9	大阪ユニバーサルシティRC	300,000円	
10	大阪城南RC	45,440円	
11	国際大会日本人朝食会余剰金	14,547円	
12	井上暎夫PG	30,000円	
13	寝屋川IRC	13,000円	
	合計	1,852,094円	

【支出】

	地区基金支出内容	寄付金額	備考
1	豊中RC	158,600円	寄付金一部返金
2	振込手数料	600円	
	合計	159,200円	

【残高】

	預金残高	1,692,894円	2012年9月11日現在
--	------	------------	--------------

米山奨学委員会/ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2012年7月末	全国寄付金合計額	184,963,693円(前年度比2.99%増)
	第2660地区寄付金合計額	7,848,250円(前年度比7.18%減)
	全国寄付金合計トップ10	
	1. 第2760地区	11,842,500円
	2. 第2750地区	11,469,500円
	3. 第2770地区	10,805,000円
	4. 第2690地区	9,243,055円
	5. 第2650地区	8,145,250円
	6. 第2610地区	7,907,000円
	7. 第2660地区	7,848,250円
	8. 第2710地区	7,152,500円
	9. 第2790地区	7,041,600円
	10. 第2600地区	6,990,700円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2012年7月)

氏名	回数	クラブ名
長谷川 博	1回目	大阪RC
吉川 仁育	2回目	大阪なにわRC
常國 克輔	1回目	大阪城北RC
小野 俊文	2回目	枚方RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2012年7月)

クラブ名	回数
大阪大淀RC	32回目

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2012年7月)

氏名	クラブ名
中山 文隆	大阪なにわRC
岩城 宏司	枚方RC
西本 和彦	枚方RC
金森 市朗	枚方RC
高田 和子	茨木RC
桑村 壽子	大阪イブニングRC
西野 文秀	大阪難波RC
林 博之	大阪難波RC
神田 眞晃	大阪難波RC

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2012年7月)

氏名	回数	クラブ名
山川 晴久	1回目	大阪なにわRC
新子 茂生	5回目	大阪なにわRC
清瀧 一也	2回目	池田RC
矢野 巖	3回目	大阪大淀RC
杉山 宗央	1回目	大阪大淀RC
杉村 章二	2回目	大阪大淀RC
末岡 稔啓	1回目	大阪大淀RC
広田 甫	3回目	東大阪東RC
橋本 陽二	3回目	茨木RC
三木 優	4回目	大阪イブニングRC
笹井 敏之	3回目	大阪本町RC
千田 忠司	2回目	大阪難波RC
藤村 輝之	1回目	大阪難波RC
吉村 清明	3回目	八尾中央RC

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2012年7月)

氏名	クラブ名
岡本 真一郎	大阪なにわRC
早栗 義文	大阪なにわRC
東 健三	大阪ユニバーサルシティRC
北村 公一	豊中RC
大竹 洋一郎	門真RC
小菓 裕成	交野RC

2012年8月度 会員数・出席報告

IM組	クラブ名	7月期初 会員数	8月期末 会員数 全員	女性	入会者数 累計	退会者数 累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
IM第1組	池田	36	34	2	0	2	-2	4	71.33	65.10
	池田くれは	29	29	2	0	0	0	3	88.57	87.24
	箕面	21	23	0	2	0	2	4	89.16	80.04
	箕面千里中央	23	23	0	0	0	0	4	90.86	87.16
	豊中	45	46	3	1	0	1	3	88.18	72.63
	豊中南	30	30	2	0	0	0	4	79.51	74.43
	豊中-大阪国際空港	19	19	0	0	0	0	4	68.93	62.16
	豊中千里	37	37	3	0	0	0	4	94.12	87.16
	小計	240	241	12	3	2	1		83.83	76.99
	IM第2組	茨木	24	24	3	0	0	0	4	96.50
茨木東		39	39	4	0	0	0	4	80.53	67.80
茨木西		29	29	6	0	0	0	4	84.48	72.41
千里		36	38	0	2	0	2	3	89.47	82.59
千里メイプル		22	22	2	0	0	0	4	88.37	82.56
摂津		40	40	2	0	0	0	4	93.90	78.81
吹田		62	62	8	0	0	0	4	96.07	88.61
吹田江坂		38	37	2	0	1	-1	3	91.98	82.00
吹田西		47	48	2	2	1	1	2	100.00	85.51
高槻		50	51	6	2	1	1	4	89.51	83.48
高槻東	37	37	1	1	1	0	4	94.66	88.13	
高槻西	22	23	0	1	0	1	4	94.57	80.43	
小計	446	450	36	8	4	4		91.67	81.74	
IM第3組	大東	44	44	0	0	0	0	3	100.00	90.80
	大東中央	26	26	10	0	0	0	4	88.23	72.62
	枚方	38	38	0	0	0	0	3	91.18	77.45
	門真	29	31	6	2	0	2	4	95.00	83.34
	交野	31	31	1	0	0	0	4	79.96	73.01
	香里園	14	14	0	0	0	0	3	100.00	95.24
	くずは	57	58	0	1	0	1	4	76.33	68.10
	守口	41	41	3	0	0	0	4	91.00	80.32
	守口イブニング	26	26	4	0	0	0	4	88.46	79.81
	寝屋川	40	40	5	0	0	0	4	92.87	80.57
四條畷	11	11	0	0	0	0	4	97.73	97.73	
小計	357	360	29	3	0	3		90.98	81.73	
IM第4組	東大阪	67	69	0	2	0	2	3	91.06	83.24
	東大阪中央	35	35	0	0	0	0	3	92.74	86.48
	東大阪東	59	60	3	1	0	1	4	85.39	76.70
	東大阪みどり	26	27	1	1	0	1	4	90.74	78.70
	東大阪西	31	31	0	0	0	0	3	92.20	66.26
	大阪柏原	28	28	2	0	0	0	3	88.35	80.61
	大阪ネクスト	16	16	6	0	0	0	3	57.00	36.00
	八尾	64	66	0	2	0	2	4	74.63	74.21
	八尾中央	17	17	1	0	0	0	3	91.51	76.76
	八尾東	23	23	1	0	0	0	4	84.41	71.78
小計	366	372	14	6	0	6		84.80	73.07	

IM組	クラブ名	7月期初 会員数	8月期末 会員数 全員	女性	入会者数 累計	退会者数 累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
IM第5組	大阪中央	45	48	5	3	0	3	4	91.15	76.63
	大阪堂島	32	33	1	1	0	1	3	82.82	79.79
	大阪北	195	198	0	3	0	3	4	80.95	71.13
	大阪北梅田	51	51	3	0	0	0	3	76.47	66.67
	大阪西	70	70	0	0	0	0	3	87.10	77.69
	大阪大淀	54	54	0	0	0	0	4	82.59	70.65
	大阪リバーサイド	36	37	7	1	0	1	4	82.87	68.69
	大阪西北	53	53	0	0	0	0	3	91.04	81.41
	大阪そねざき	36	36	22	0	0	0	4	97.73	92.47
	大阪梅田	27	27	0	0	0	0	3	83.09	78.87
大阪梅田東	26	28	0	2	0	2	4	85.71	70.53	
大阪ユニバーサルシティ	29	29	4	0	0	0	3	86.42	81.48	
小計	654	664	42	10	0	10		85.66	76.33	
IM第6組	大阪	255	256	0	2	1	1	4	76.84	56.76
	大阪東	118	121	0	4	1	3	3	93.84	82.86
	大阪東淀ちゃやまち	31	32	3	1	0	1	3	78.56	70.11
	大阪城東	42	42	5	0	0	0	4	92.37	79.41
	大阪中之島	29	28	2	0	1	-1	4	98.21	80.35
	大阪大手前	36	36	2	0	0	0	4	85.16	71.25
	大阪城北	53	53	3	0	0	0	4	81.73	80.27
	大阪天満橋	67	68	0	1	0	1	4	90.68	86.06
	大阪鶴見	34	35	0	1	0	1	3	83.53	79.66
	大阪-淀川	33	33	3	0	0	0	4	93.93	81.60
新大阪	34	35	0	1	0	1	4	82.86	78.57	
小計	732	739	18	10	3	7		87.06	76.99	
IM第7組	大阪フレンド	22	23	3	1	0	1	4	95.28	89.44
	大阪本町	25	26	2	1	0	1	3	91.11	76.29
	大阪御堂筋	33	33	0	0	0	0	4	87.10	76.61
	大阪南	142	144	0	2	0	2	3	82.91	72.63
	大阪難波	46	46	0	0	0	0	4	91.96	67.94
	大阪なにわ	25	25	2	0	0	0	4	91.66	83.79
	大阪南西	16	16	3	0	0	0	4	81.74	75.08
	大阪西南	99	99	19	0	0	0	4	100.00	73.48
	大阪船場	40	40	0	0	0	0	3	92.00	88.70
	大阪心斎橋	36	37	0	1	0	1	4	90.49	79.73
大阪うつぼ	31	31	4	0	0	0	4	95.30	83.80	
小計	515	520	33	5	0	5		90.87	78.86	
IM第8組	大阪平野	31	31	3	0	0	0	4	95.80	83.33
	大阪イブニング	16	17	4	1	0	1	4	84.83	72.79
	大阪城南	52	53	0	1	0	1	4	98.96	90.29
	大阪咲洲	19	19	1	0	0	0	4	85.53	68.42
	大阪天王寺	59	59	0	0	0	0	3	91.01	78.08
	大阪帝塚山	55	55	4	0	0	0	4	74.56	72.80
	大阪東南	49	49	0	0	0	0	3	93.88	61.22
	大阪アーバン	28	28	8	0	0	0	4	69.64	66.96
	小計	309	311	20	2	0	2		86.78	74.24

合計	クラブ名	7月期初 会員数	月末 会員数	女性 会員数	入会者数 累計	退会者数 累計	増減	平均 出席率	ホームクラブ 平均出席率
	83	3619	3657	204	47	9	38	87.7	77.5

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

下園 義明 会員(高槻西RC)

2012年8月29日逝去(享年70歳)

会長、幹事、プログラム・情報委員長、広報委員長、会報委員長、
規定情報委員長、会員選考委員長、クラブ社会奉仕委員長

米山功労者、ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

●ROTEX名称変更

青少年交換の派遣学生経験者の集まりである「ROTEX」という名称が、ロータリーメンバーになかなか理解してもらえず、いちいち説明する状況でした。そのため、8月26日から「青少年交換学友会」と改称されました。

●ロータリー世界平和フォーラム広島支援の寄付の御礼

2013年5月17～19日に広島で開催されます2013ロータリー世界平和フォーラム広島のための運営資金支援の寄付を地区内クラブにお願いいたしましたところ、954,192円の寄付金が集まりました。寄付金は8月30日にホスト委員会に送金いたしました。皆様のご支援を心から感謝申し上げます。

国際ロータリー第2660地区
ガバナー 高島 凱夫

●大阪南西ロータリークラブ ホームページアドレス変更のお知らせ

(新)<http://www.11.ocn.ne.jp/~nanseirc>

●大阪アーバンロータリークラブ メールアドレス変更

(新)osaka-urban@ou-rc.org

●大阪城南ロータリークラブ 事務局移転(2012年9月27日より)

〒542-0012 大阪市中央区谷町9丁目1-22 NK谷町ビル407号

TEL: 06-6796-9898 FAX: 06-6796-9899

(メールアドレスは変更ありません)

●お詫びと訂正

岡部年度月信最終号16・17ページに間違いがありましたので、お詫びして訂正いたします。

ポール・ハリス・フェロー (誤) 渡錦 克一 (豊中-大阪国際空港RC)

(正) 渡邊 克一 (豊中-大阪国際空港RC)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (誤) 奥 嘉隆 (門真RC)

(正) 奥 嘉隆 (交野RC)

文庫通信 (300号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー文庫の資料より(2)

- ◎「ロータリーとリーダーシップ」
エリオ・チェリニ 2012 8p (第40回ロータリー研究会報告書)
 - ◎「ロータリーの奉仕活動プログラムからプロジェクトへ」
南園 義一 2012 2p (D.2770地区大会の記録)
 - ◎「国際奉仕 素晴らしい体験・奉仕のノウハウと問題点」
榊原 節子 2012 8p (D.2710地区大会特集号)
 - ◎「第2790地区で初のCLP」
成田R. C. 2012 5p (創立50周年記念誌)
 - ◎「社会貢献的職業奉仕」
細谷 伸夫 2012 1p (D.2800月信)
 - ◎「中核となる価値観(Core Value)について」
田村 泰三 2012 1p (D.2710月信)
 - ◎「ロータリーの楽しみ方」
柏熊 均 2012 1p (D.2790ロータリー情報研究会報告書)
 - ◎「Eクラブとは」
D.2650 2012 3p (RLI研修手引書)
 - ◎「RI戦略計画(2010～2013年度)」
D.2650 2012 4p (RLI研修手引書)
- [上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL: (03) 3433-6456 FAX: (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館: 午前10時～午後5時 休館: 土・日・祝祭日

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みお待ちしております。

2012-2013年度 国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	高島 凱夫
地区代表幹事	村橋 義晃
地区副代表幹事	杉村 雅之
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美 春名 志保 納多 寿恵子

●所在地・電話・FAX・E-mail

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661
E-mail: gov@ri2660.gr.jp

●ホームページアドレス

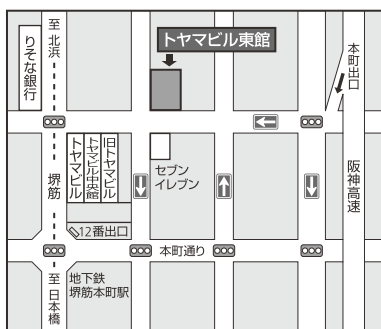
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30～17:00

●休日

土曜、日曜、祝日
年末年始 2012年12月29日(土)～2013年1月6日(日)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 12番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。
最多36名、詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

月信編集委員会

- | | | | |
|----------|-------|---------|-------|
| ●ガバナー | 高島 凱夫 | ●地区代表幹事 | 村橋 義晃 |
| ●地区副代表幹事 | 杉村 雅之 | ●担当地区幹事 | 西田 未彦 |
| ●担当地区幹事 | 梅原 一樹 | ●事務局長 | 今井 貢二 |



健全な心と体の育成を
～地球の平和のために～

第1日目 2012年12月7日(金)

大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

- 開会式(5階メインホール) …… 13:00 開会
・講演「ロータリー綱領の和訳について」 …… 鳥居 滋 氏
- 分科会(10階会議室) …… 15:00 開会
・分科会Ⅰ [会長・幹事部門:人間にとって障害とは何か] …… 正高 信男 先生
・分科会Ⅱ [新世代部門:臓器移植とオカルトの知] …… 澤井 繁男 先生
・分科会Ⅱ [新世代部門:これからの若者に期待したい事—HIV/AIDS、
飲酒、喫煙の実態報告から] …… 白阪 琢磨 先生
・分科会Ⅲ [米山奨学・R財団部門]
・分科会Ⅳ [新入会員部門]

リーガロイヤルホテル

- 家族の集い(ダイヤモンドルーム) …… 15:00 開会
・「北の大地に魅せられて」 …… 菊池 晴夫 氏
- RI会長代理歓迎晩餐会(光琳の間) …… 18:00 開宴

第2日目 2012年12月8日(土)

大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

- 本会議(5階メインホール) …… 13:00 開会
- 特別講演(5階メインホール)

「iPS細胞研究の進展」

京都大学教授 京都大学iPS細胞研究所 所長 山中 伸弥 教授

※友愛の広場は、上記、両日ともに12:00より大阪国際会議場(グラン
キューブ大阪)5Fホワイエにて実施しております。

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

国際ロータリー 第2660地区
〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL. 06-6264-2660 FAX. 06-6264-2661
E-mail: gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660
Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 JAPAN
TEL. +81-6-6264-2660 FAX. +81-6-6264-2661
E-mail: gov@ri2660.gr.jp